

(添付ファイル 第8号様式)

## 令和元年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

| 事業名  | 番号  | 箇所名               | 市町名     | 再評価の理由 | 全体事業概要と目的  | 事業進捗状況 |      |     | 事業を巡る社会経済情勢等の動向   | 費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等   | 今後の事業の見通し   |        |
|------|-----|-------------------|---------|--------|--|--------|------|-----|---|---|---|--------|
|      |     |                   |         |        |  | 採択年    | 総事業費 | 進捗率 |   |   |   | 事業進捗内容 |
|      |     |                   |         |        |  |        | 工事費  | 進捗率 |   |   |   |        |
| 目標年  | 用地費 | 進捗率               |         |        |  |        |      |     |   |   |   |        |
| 道路事業 | 6   | 主要地方道七色峡線(瀬戸バイパス) | 熊野市・井戸町 | ②      | <b>【全体事業概要】</b><br>延長 L=760m<br>幅員 W=5.5m(7.0m)<br><br><b>【主要構造物】</b><br>橋梁 N=2基<br><br><b>【事業目的】</b><br>・主要地方道七色峡線における幅員狭小・線形不良区間の解消<br>・熊野市の産業・観光の交流促進 | H22    | 700  | 45% | <b>【実施済事業内容】</b><br>井戸川2号橋下部工完成<br><br>当事業は平成22年度に事業着手しましたが、平成23年9月に発生した紀伊半島大水害により、熊野地域、なかでも二級河川井戸川の沿川である当地域は甚大な被害を受けました。<br>熊野建設事務所では、災害復旧室を平成26年度まで設置し、災害復旧にかかると事業を最優先に事業展開を行って来ました。<br>このような社会状況の変化もあり、紀伊半島大水害被災時に事業着手したばかりであった当事業は、用地買収交渉を平成26年度から本格的に行い、工事着手は平成29年度になりました。 | <b>【費用対分析効果】</b><br>B/C=1.1<br><b>【コスト削減】</b><br>耐候性鋼材を使用し塗装費用を削減、新技術工法として開発された、桁の本数を減らすことができる、コンボ桁の採用による施工費の削減、道路法面の一部に張コンクリートを行い、草刈に要する維持管理費を削減、道路の盛土材について他工事で発生する建設発生土を使用し、コスト削減を図ります。<br><b>【代替案】</b><br>「バイパスルート案」と「現道拡幅ルート案」を比較、検証しました。<br>現道拡幅ルート案は、ルート上に支障となる家屋があり、地域にあたる影響が大きいかことや、コスト面においても優位性がないことから、バイパスルート案を最適ルートとして採用しました。<br>なお、用地については、本年度全て完了したことから、代替案はありません。 | 残事業について、R7年の供用開始に向け、以下のように事業を進めていく予定です。<br><br>・R1年 用地取得完了<br>・R1年 2号橋完成予定<br>・R2年 1号橋工事開始予定<br>・R5年 2号橋完成予定<br>・R7年 供用開始予定 |        |
|      |     |                   |         |        |  | 〽      | 552  | 34% |   |   |   |        |
|      |     |                   |         |        |  | R6     | 148  | 88% |   |   |   |        |

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

(添付ファイル 第8号様式)

## 令和元年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

| 事業名  | 番号 | 箇所名                | 市町村名    | 再評価の理由 | 全体事業概要と目的   | 事業進捗状況          |       |       | 事業を巡る社会経済情勢等の動向   | 費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等  | 今後の事業の見通し   |                   |
|------|----|--------------------|---------|--------|---|-----------------|-------|-------|---|--|---|-------------------|
|      |    |                    |         |        |   | 採択年<br>S<br>目標年 | 総事業費  | 進捗率   |   |  |   | 事業進捗内容            |
|      |    |                    |         |        |   |                 | 工事費   | 進捗率   |   |  |   |                   |
|      |    |                    |         |        |   |                 | 用地費   | 進捗率   |   |  |   |                   |
| 道路事業 | 8  | 一般国道368号 伊賀名張拡幅1工区 | 伊賀市・名張市 | ④      | <p>【全体事業概要】<br/>延長 L=12,400m<br/>バイパス区間 L= 0m<br/>4車線化区間 L=12,400m</p> <p>幅員<br/>バイパス区間 W= 0m<br/>4車線化区間 W=20.0m</p> <p>【主要構造物】<br/>橋梁 N=5橋</p> <p>【事業目的】<br/>・渋滞の緩和<br/>・上野インターチェンジへのアクセス性向上<br/>・地域経済や産業の発展</p> | H18             | 9,500 | 26.0% | <p>【実施済事業内容】<br/>4車線拡幅事業</p> <p>【残事業内容】<br/>延長 L=約10,800m<br/>橋梁 N=5橋</p> | 平成31年4月1日に国土交通省は平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、供用中の道路について重要物流道路の指定を行いました。国道368号では、名阪国道上野インターチェンジから八幡工業団地1交差点までの区間が重要物流道路に、八幡工業団地1交差点から蔵持町原出交差点までの区間が重要物流道路の補完路に指定されました。 | <p>【費用対分析効果】<br/>B/C=2.9</p> <p>【コスト削減】<br/>道路整備に際し、維持管理の面も考慮して、「耐候性鋼材の使用」と「張コンクリート工の施工」を行います。「耐候性鋼材の使用」については、鋼製橋梁に耐候性鋼材を使用しており、塗替え費用の削減を図るとともに「張コンクリート工の施工」については、除草費用の削減を図ります。<br/>また、道路照明についても電気代削減の観点からLED照明を採用します。</p> <p>【代替案】<br/>現在までの用地取得の状況と工事進捗状況から代替案は無いと考えています。</p> | 令和16年度に全線供用の予定です。 |
|      |    |                    |         |        |   | R15             | 230   | 27.0% |   |  |   |                   |

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

(添付ファイル 第8号様式)

## 令和元年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

| 事業名  | 番号 | 箇所名                | 市町村名 | 再評価の理由 | 全体事業概要と目的   | 事業進捗状況   |          |        | 事業を巡る社会経済情勢等の動向   | 費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等   | 今後の事業の見通し  |                   |
|------|----|--------------------|------|--------|---|----------|----------|--------|---|---|--|-------------------|
|      |    |                    |      |        |   | 採択年<br>) | 総事業費     | 進捗率    |   |   |  | 事業進捗内容            |
|      |    |                    |      |        |   |          | 工事費      | 進捗率    |   |   |  |                   |
|      |    |                    |      |        |   |          | 目標年<br>) | 用地費    |   |   |  |                   |
| 道路事業 | 9  | 一般国道368号 伊賀名張拡幅2工区 | 名張市  | ④      | <p>【全体事業概要】<br/>延長 L=1,800m<br/>バイパス区間 L= 0m<br/>4車線化区間 L=1,800m</p> <p>幅員<br/>バイパス区間 W= 0m<br/>4車線化区間 W=20.0m</p> <p>【主要構造物】<br/>橋梁 N=2橋</p> <p>【事業目的】<br/>・渋滞の緩和<br/>・上野インターチェンジへのアクセス性向上<br/>・地域経済や産業の発展</p> | H21      | 2,000    | 63.0%  | <p>【実施済事業内容】<br/>4車線拡幅事業</p> <p>【残事業内容】<br/>延長 L=1,800m<br/>橋梁 N=2橋</p> | 平成31年4月1日に国土交通省は平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、供用中の道路について重要物流道路の指定を行いました。国道368号では、名阪国道上野インターチェンジから八幡工業団地1交差点までの区間が重要物流道路に、当該区間が重要物流道路の補完路に指定されました。 | <p>【費用対分析効果】<br/>B/C=4.6</p> <p>【コスト削減】<br/>道路整備に際し、維持管理の面も考慮して、「張コンクリート工の施工」を行い、除草費用の削減を図ります。<br/>また、道路照明についても電気代低減の観点からLED照明を採用します。</p> <p>【代替案】<br/>現在までの用地取得の状況と工事進捗状況から代替案は無いと考えています。</p> | 令和11年度に全線供用の予定です。 |
|      |    |                    |      |        |   | R10      | 0        | 100.0% |   |   |  |                   |

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業